

建交労あいち推進ニュース

〒454-0842 名古屋市中川区宮脇町 2-99-2 TEL052-353-1911 FAX052-362-5841

発行
建交労愛知県本部
NO2012
2020-5-25

組織拡大行動を実施！ ずーっと休みで生活が大変！

5/24、高層マンションが林立する港区木場町付近で、組織拡大宣伝行動を10人の参加で実施しました。市営・県営・URの集合団地の他、民間マンション20ヶ所約6000世帯への労働相談チラシやコロナアンケートの配布を行ない、その後に近隣にあるスーパー「カネスエ」前でマイク宣伝とコロナアンケートを行ないました。



スーパー前でいったアンケート調査では、ホテルの調理場で働くパートさんは、休業となってすでに3ヶ月、休業補償はあるものの当初の説明よりも低い金額で、収入が大きく減ってしまっていて、生活が本当に厳しい、と嘆いていました。

この日のスーパー前宣伝は、昼間の時間帯で行いましたが、次から次にお客さんが買い物に訪れており、賑わいを見せていました。買い物は食材が圧倒的に多く、外食を自粛し、家庭料理を楽しんでいるものと思われました。

愛知県では、5/15に緊急事態宣言が解かれてからすでに10日を経過し、25日には全国で緊急事態が解かれる予定となっています。町には徐々に人が増え始めています。しかし、休業を余儀なくされている施設もまだ多く、活気が戻るには、まだまだ時間がかかることになると思われます。活気を取り戻すためにも組織拡大に奮闘しましょう！

競艇従事員の休業手当の引上げ実現！

無観客レースが続く競艇職場で、休業手当の引上げを求めてきましたが、先日休業手当の引上げが実現することになりました。常滑では、4月、5月の休業補償は8割となり、5月の場外発売所は、非開催については出勤日数に組み入れ、本場開催日は8割の賃金補償を行うことになりました。また、蒲郡では、賃金補償は100%となり、3月まで遡って実施されることになりました。これに合わせ、既に取得した有給休暇については、4月に遡って取消し措置を講じられることになりました。

競艇業界では、2月末から全国24場すべてで無観客レースが続けられてきましたが、5/22に大村競艇場で、来場が緩和されたのを皮切りに、順次再開される模様となっています。



夏季一時金7社平均で450,026円 昨年比▼4961円！

県本部で集計している夏季一時金は、22社で要求提出が行われ、これまでに回答があった7社の平均額は450,026円となっており、これは昨年実績比較で▼4961円(1.1%減)となっています。

昨年実績を上回っているのは、近物レックス、大成運送、昨年同額が三栄運輸、日嶺産業で、コロナ影響で昨年実績を下回っているのが、名新陸運、アイチ物流、JR東海となっています。妥結は5社で、交渉継続中の組織は2社です。今後の交渉では、コロナ影響が色濃く出てくることも予想されますが、企業側の各種助成金の取組みなど減収対策が十分に行われたのかを検証し、安易な実績引下げには、応じない構えが必要です。また、コロナ影響によって、多忙となったり、平常と変わらない業務だったところについては、危険手当など特殊手当の増額を求めていくことも重要です。

すでに手当増額などの措置が取られたところは、学童保育や環境職場で報告されています。



不要なアベノマスクはありませんか？

“アベノマスク”が不要の方は、**県本部にマスクをお寄せください。**必要な施設等にお渡しします。

県本部では、新型コロナウイルスによる業務への影響、業務変化とその対応の情報を集約していますので、各職場の情報をお寄せください

教訓的なものについて随時、ニュースでお知らせします。